

会員拡大・研修委員会 基本方針（案）

会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃

一般社団法人佐賀青年会議所は、価値観も多様化し様々な団体の活動、新型コロナウイルス感染拡大などの影響もあり、会員数が減少しつつある課題に直面し、会員一人ひとりの取り組みと組織全体での活動などで、会員減少の問題を、元気のある組織へと戻してきました。しかし、近年若者の意識の変化、他団体の台頭などにより、青年会議所への入会希望者が減っております。このような社会情勢の中でも、我々は明るい豊かな社会の創造に向け、活動運動を推進していくことが求められ、その原動力として全会員で拡大に取り組み、メンバーの資質向上を目指し、組織を強化していく必要があります。

まずは、人財を発掘し会員拡大に繋げていくために、候補者の情報を収集し共有できる体制を整えるとともに、JCへの関心を高め、ともに行動する仲間を増やしていきます。そして、会員拡大・研修委員会が全会員と連携しながら、青年会議所の魅力を伝え、入会意識を高めます。また、仮入会者を正式入会へと導くために、仮入会者と現役メンバーとのコミュニケーションを取る場を設けることで、相互の理解と友情を深め、今後につながる信頼関係を築き上げます。さらに、会員拡大・研修委員会が率先して、佐賀青年会議所の魅力を発信していくことで、JCへの関心が高まり、会員拡大に繋げます。また、メンバーが青年会議所の魅力や意義について再認識するために、運動の意義について学び直す仕組みを作り、青年会議所の活動の取り組み意識を高めます。そして、仮会員の参加意欲や絆を高めるために、研修においてコミュニケーションの場を設けて、メンバー同士の対話を大切にする研修をし、仲間と共に青年会議所の輪を広げる活動へとつなげます。

決まった時間の中で、大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所の魅力をわかっていたとき、時代に合わせた会員の資質向上を行うとともに、「修練」「奉仕「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のよう勢いあふれ輝く会議体として、地域そして人を輝かせます。

22

23 [事業計画]

- 24 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 25 2. 厄入厄晴の企画・運営（2月）
- 26 3. 例会の企画・運営（4月・6月・11月）
- 27 4. サマーコンファレンス（横浜）参加者への支援（7月）
- 28 5. 九州コンファレンス（宮崎）参加者への支援（9月）
- 29 6. 会員拡大 拡大目標 40名（通年）